



大山

Oyama



自国の農村振興のために

5月26日、中華人民共和国駐福岡総領事館から律桂軍総領事と18人の職員が大分大山町農協に来所した。一行は5班に分かれて梅やハーブ収穫などの農業体験を行い、農協の関連施設を見学。律総領事は、「大山町と中国は40年以上の交流を通して深い縁がある。中国の農村部振興のため、一村一品運動など大山町から学ぶことがたくさんある」と話していた。



地域の魅力をここから発信！

4月24日、中川原地区で1回目となる「大山スマイルマルシェ」が行われた。地元の魅力を知ってもらい、若者も住みやすい町にしたいとの思いから、大山スマイルマルシェ実行委員会が主催した初のイベント。この日は10店舗以上が出店してお菓子や雑貨などを販売し、500人を超える来客があった。大盛況につき、今後も定期的な開催を予定だ。

上津江

Kamitsue



心華やく、色とりどりのサツキ

5月23日から約3週間、2年振りに行われた上津江公民館盆栽教室の作品展。盆樹として鮮やかに咲き誇る色とりどりのサツキや紅葉等の盆栽で上津江振興局のロビーは埋め尽くされ、地区内外から開催を心待ちにしていた人々が次々と訪れた。来場者は一つ一つの盆栽の枝ぶりや花付きを眺めながら、「きれいね〜」「すごいね！」と華やかな作品展に心を躍らせていた。



サーキットを彩る1万発の花火！

5月3日、雉谷地区にあるオートポリスで開催された、大分県最大級の花火大会「天空 de HANABI」。サーキットコースを生かして、最大号数尺玉を含めた総数1万発が上空とごく間近の2箇所打ち上げられ、花火の迫力ある光景と音で県内外の観客約4,800人を魅了した。また、日田名物をはじめとする多数の飲食店ブースやステージイベントも、たくさんの人たちで賑わった。



中津江

TOWN TOPICS IN HITA

まちの話題

Nakatsue



笑顔で茶摘み、新茶のおいしさにまた笑顔

5月24日、津江小学校の3年生9人が茶摘みの体験学習を松野茶園で行った。新芽は霜の影響を受けることなく、色鮮やかな茶葉に生育していた。児童たちは、茶畑についての説明が始まると興味深く聞き、次々と質問。どんな思いでお茶を生産しているかという児童たちの問いに、茶園の管理者である松野さんは「お茶をたくさんの人に飲んでほしいという思いで作っている。お茶は健康にも良いため、急須で淹れたお茶を是非飲んでほしい」と力強く語っていた。

茶畑での収穫体験を終えた一行は製茶工場に移動し、摘み取った茶葉の加工工程を見学。児童たちは茶葉が揉まれる様子に驚きながらも、出来上がった新茶のおいしさに笑顔を見せていた。



中津江ホールに感謝の歌声を

5月28日、中津江ホール野外ステージで「中津江ミュージックフェスティバル番外編」と題したコンサートが開催された。このイベントは、福祉施設の建設に伴って解体される中津江ホールに、最後に感謝を伝えたいという思いから、うたう村実行委員会が企画したもの。当日は5組が演奏し、出演者たちの「ありがとう村民ホール」の歌声に、会場は一体感に包まれた。



交通ルールを知って、正しく守ろう

5月26日、大分県交通安全協会日田支部が津江小学校全校児童を対象とした交通安全教室を開催。講師が歩くときや自転車に乗るときの注意点を説明すると、児童たちは熱心に耳を傾けていた。横断歩道を渡る練習では、講師の教えを守りながら正しく横断。また、自転車に乗る際の安全な構えや発進の際の安全確認など、自転車での交通安全マナーも学んだ。